

①【共通科目】

令和7年度 シラバス

岐阜県立池田高等学校

教科名	公民	科目名	公共	年次	2年次	単位数	2
教科書	高等学校 公共 (数研出版)		副教材	資料集：クローズアップ公共(第一学習社) ワーク：スタディノート公共(数研出版)			

1 科目の目標

- ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念・理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ・現実社会の諸問題の解決に向けて、手がかりとなる考え方等を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や構想したことを議論する力を養う。
- ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や自国を愛し、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：各単元の本文を事前に読み、不明な用語・語句の意味調べなどを行う。

復習：授業を通して、理解できたこと、分からなかったところを確認する。

② 授業における学習方法

授業は積極的に理解に努める姿勢で向かい、自ら思考する努力をする。ノートは後日復習しやすい取り方を念頭に置いて書く。※宿題は、出された当日に必ず自力でやる。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	・青年期と社会参画 ・宗教・思想・伝統文化 ・倫理的な見方・考え方	・「青年」と「大人」の違いについてまとめる。 ・宗教・伝統文化の背景にあるものは何かをまとめる。 ・公平・正義とはどのようなものかを理解する。
	前期 期末	・社会の基本原則と憲法 ・私たちと法	・社会を動かす根底にあるものは何かを確認する。 ・基本的人権とは何かを日常生活の問題から考察する。 ・法が日常生活の中で果たす役割について理解する。
後期	後期 中間	・私たちと政治 ・国際政治の動向と平和	・政治を行うしくみとその原理について学ぶ。 ・選挙の持つ意義と課題について学ぶ。 ・社会の中で果たす法の役割と限界を理解する。
	学年 末	・市場経済のしくみ ・豊かな社会の実現 ・国際経済の動向と格差	・経済の果たす役割を理解する。 ・豊かな社会を形成しているしくみを理解する。 ・国際経済の現状と課題を理解し、今後のありかたを考える。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察するための概念や理論について理解するとともに必要となる情報を適切かつ効果的にまとめることができる。	現実の諸課題の解決に向けて、手がかりとなる考え方や事実を基に多面的・多角的に考察・公正に判断する力を議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現実の諸問題を主体的に解決しようとする態度を養い、現代社会に生きる人としての在り方生き方について自覚する。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査の成績、単元課題、提出物、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%

